

## 悠紀齋田拔穂使修祓地の碑

明治天皇は1912（明治45）年7月30日、ついに崩御なされた。明治天皇は61歳で崩御され、皇太子嘉仁（よしひと）親王が天皇の位を受け継がれた。新しい元号は「大正」、「天興」、「興化」の中から「大正」が選ばれ、1912（明治45）年7月30日が「大正元年」となった。

1915（大正4）年、大正天皇即位の大嘗祭（だいじょうさい）を行うにあたり、儀式に用いる新米を収穫するために京都より東日本を悠紀（ゆき）、西日本を主基（すき）として二つの齋田が選定された。これは1914（大正3）年2月5日、悠紀・主基の神殿で行われた。火炎の上に悠紀・主基の亀甲板2枚をかざし、甲面に生じた亀裂が悠紀は愛知県、主基は香川県を指したことから決定されたという伝説的な記述が残っている。

大嘗祭とは、天皇が即位の礼の後、初めて行う新嘗祭である。大嘗祭は本来、「おおにえのまつり」「おおなめのまつり」「おおむべのまつり」と読まれたが、現在は「だいじょうさい」と音読みすることが多い。新嘗祭（にいなめさい）は毎年11月に、天皇が行う収穫祭で、その年の新穀を天皇が神に捧げ、天皇自らも食す祭儀であるが、当初は大嘗祭とはこの新嘗祭の別名であった。後に、即位後初めての新嘗祭を1世に1度行われる祭として、大規模に執り行うこととなり、律令ではこれを「踐祚大嘗祭」とよび、通常の大嘗祭（＝新嘗祭）と区別した。

愛知県は悠紀齋田に碧海郡六ツ美村大字中島字丸の内（現：岡崎市中島町）で早川定之助が所有する田を勅定し、香川県は主基齋田に旧綾歌郡山田村（現：綾川町山田上）の田を勅定した。天皇一代に1度限りの大祭である大嘗祭の齋田に選ばれたことはとても名誉なことであり、六ツ美村民はもとより、愛知県民挙げての協賛儀式が進められた。

本来は1914（大正3）年に大正天皇即位の大嘗祭を行う予定であったが、1914（大正3）年4月11日に昭憲皇太后（明治天皇の皇后）が崩御されたことから、大嘗祭は諒闇（りょうあん：天使が父母の死で喪に服する期間）中は行わないことになった。翌、1915（大正4）4月19日に、即位の礼は11月10日に、大嘗祭は11月14日に行われた。

また、1914（大正4）年に北郷久政勅使が参加した大嘗祭の重要な儀式である「修祓の式」および「拔穂の式」がある。「拔穂式」の前日、勅使による「河原御祓い」が矢作川大聖寺で行われ、それを記念して北郷久政勅使の筆跡を刻んだ碑が建立された。これは現在も美矢井橋の北側の堤防に建っている。

- ・ 悠紀齋田拔穂使修祓地の碑（正面）

大嘗祭悠紀齋田拔穂使修祓の地

- ・ 悠紀齋田拔穂使修祓地の碑（裏面）

六ツ美村

- ・ 悠紀齋田拔穂使修祓地の碑（右側面）

掌典正五位勲五等北郷久政書

- ・ 悠紀齋田拔穂使修祓地の碑（左側面）

大正八年建立

・悠紀齋田拔穂使修祓地の碑（説明板）

**大嘗祭悠紀齋田拔穂（ぬきほ）使修祓地の碑**

大正四年（1915）、大正天皇即位の大嘗祭（だいじょうさい）を行うにあたり、これに用いる新米を作る齋田として岡崎市  
中島町の四反歩の田が選ばれました。大嘗祭（だいじょうさい）の重要な儀式のひとつである「抜穂式」の前日、勅使（ちよくし、天皇の使い）による「河原御祓い」が行われ、その場所として白砂青松の景色のよい、この矢作川大聖寺が選ばれました。大正四年九月十九日午後三時から行われた「河原御祓い（かわらおはらい）」には、約三万人もの見学者があったと言われています。大嘗祭（だいじょうさい）悠紀齋田は、現在市の無形民俗文化財に指定されています。  
岡崎市教育委員会

**[大正天皇の即位の礼・大嘗祭]**

皇室典範・登極令制定後、初めてとなった大正天皇即位の礼は、1915年（大正4年）11月10日に京都御所紫宸殿で行われた。本来は1914年（大正3年）に挙行される予定だったが、同年4月に昭憲皇太后の崩御により1年延期された。明治天皇の即位時には新調できなかった高御座等が新調された。

**[大正天皇の大嘗祭悠紀齋田・主な儀式]**

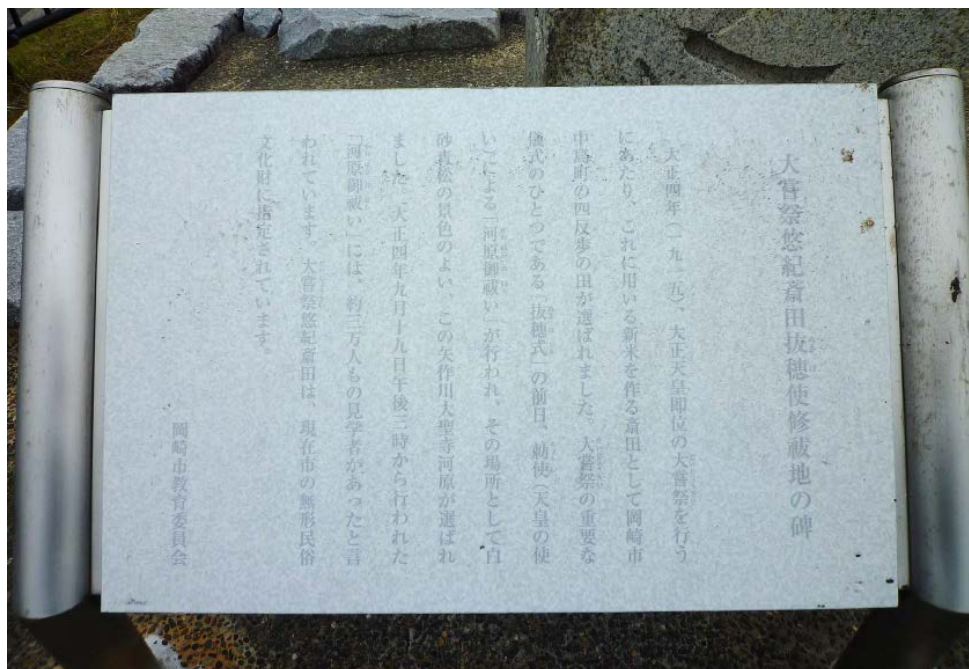
- 大正3年03月07日 悠紀齋田示達式（碧海郡六ツ美村下中島字上丸ノ内の4反歩）
- 大正3年04月11日 「昭憲皇太后」が崩御され大嘗祭は1年延期となる
- 大正4年04月22日 大嘗祭悠紀齋田祓式（悠紀齋田）
- 大正4年04月23日 播種式（悠紀齋田）
- 大正4年06月05日 悠紀齋田御田植祭（悠紀齋田）
- 大正4年08月15日 抜穂式齋場地鎮祭（悠紀齋田齋場予定地）
- 大正4年09月19日 抜穂前一日大祓の儀（矢作川大聖寺蹟）
- 大正4年09月20日 悠紀齋田抜穂式（悠紀齋田齋場）
- 大正4年10月15日 供納米点検式（八幡社）
- 大正4年10月16日 齋田米供納式（京都御所）
- 大正4年11月14日 大嘗祭（大嘗宮（仙洞御所））



修祓地の碑 20150719



悠紀齋田修祓地の碑 六ッ美村誌より転写



修祓地の碑 20160608



本項は以下の資料を引用している。

**[大嘗祭 六ッ美悠紀齋田 100 周年記念事業記念誌]**

編集・発行 六ッ美悠紀齋田 100 周年記念事業実行委員会記念誌編集委員  
 発行日 2016（平成 28）年 2 月 25 日  
 印刷所 大日印刷株式会社

**[六ッ美村誌]**

編者 六ッ美村是調査会  
 発行 六ッ美村是調査会  
 発行日 1926（大正 15）年 12 月 1 日  
 発行所 日新堂書店  
 印刷所 活版印刷所

**[六ッ美風土記]**

編者 岡崎市立六ッ美中部小学校父母教師会  
 監修 太田 満也  
 発行 岡崎市立六ッ美中部小学校父母教師会  
 発行日 1975（昭和 50）年 3 月 24 日  
 印刷所 あいち印刷株式会社

**[大嘗祭 悠紀齋田]**

筆者： 野々山 克彦  
 監修： 野村 弘、都築 末二、山崎 鉦司、越山 義之  
 発行日：2014（平成 26）年 4 月 1 日  
 印刷所：永田印刷所